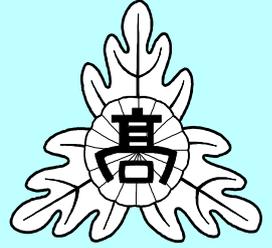


# 市来農芸 だより



## 卒業式

三月一日(火)、いよいよ第六十八回目の卒業式の日を迎えました。  
 多数の来賓や保護者の方々に出席していただき、農業経営科三十名、生物工学科二十三名、生活科十四名、合計六十七名の三年生が本校から卒業します。

### 卒業生へ贈る言葉

#### チャンスとチャレンジ

三年生六十七名の皆さん、卒業おめでとうございます。高校生活を振り返って、思い出に残る三年間だったことでしょうか。これから先の人生、様々なことが待ち受けていると思いますが、その一つ一つを自分の糧にして頑張っていくてください。  
 さて、新しい門出を迎えた皆さんに二つの言葉を贈ります。一つは、「二期一会」

## 第 160 号

平成 28 年 3 月 1 日  
 編集・発行  
 市来農芸高校広報係  
 いちき串木野市湊町 160  
 TEL (0996) 36-2341  
 発行責任者  
 校長 本村 信一

です。これからたくさんの方との出会いが待っています。その出会いを大切にしてください。また、自分にとって「チャンス」となる機会も、決して多いものではありません。「ここだ!」と思った時に、一心不乱に突き進める心構えを、常に持ち続けてほしいと思います。

二つ目は、鹿児島に伝わる言葉で「泣こかい 飛ぼかい 泣こよつかひっ翔べ」です。社会に出ると、初めて経験することの連続です。いろいろ考えてばかりでは何も始まりません。まずはやってみること、「チャレンジ」です。自分で行動に移してこそ、次の展開が見えてくると思います。

いよいよ旅立ちです。皆さんが「拓心」を持って、人生を切り拓いていかれることを期待します。

三年生主任  
 松久保 俊明

### 卒業おめでとう

三年生のみなさんは、いよいよ出発の日になりました。それぞれの人生の中で、とても大きな節目の一つになるはずです。

これから進んでいく皆さんの道の途中には、いくつもの分岐点があります。そしていつも正しい選択ができる訳ではなく、迷ったり、決めて進んでから後悔したり、様々なことが起こるでしょう。

しかし、どんな道に迷い込んでしまっても、一所懸命さだけは失わないでください。がんばり続ければ必ず周

囲の誰かが助けてくれます。

「誠一杯の努力」が、きつと正しい道を指し示してくれることになるはずです。

進路指導部主任  
 伊地知 隆

志は高く、あゆみは着実に同期「入学」の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうござります。

私も皆さんと同じ三年前に、縁あって進路室で働くこととなりました。以来、いつも皆さんの動向は気になっていました。そして、できることなら、皆さんの卒業を見届けたいとの願いがかな

いました。

皆さんの潜在力(可能性)は、他の高校生を圧倒しています。これは、多くの人生に四〇年以上関わってきた、私の揺るぎない確信です。寮生活、鶏の解体、休日にも登校しての家畜の世話や、農業実習などで得た『心の肥やし』が皆さんにはあります。

ですから、自分を信じて、低い目標に甘んじないでください。一度限りの人生を送るに値する目標を持ち、「志は高く、あゆみは着実に」の精神で、これからの人生を歩んでください。皆さんの生き方が、その後につづく人を喜ばすものとなることを願っています。

### 進路指導部就職支援員

東 均

卒業生のみなさんのために、三人の先生方から激励の言葉を書いていただきました。

今までも、そしてこれから、自分一人だけではなく、多くの人の気持ちに支えられていくことを忘れたいと思います。



## 27年度卒業生の進路状況 28.2.24 現在

学科	農業経営	生物工	生活	合計
進路先				
大 学	2	3	0	5
短期大学	0	1	0	1
県立農大	7	6	0	13
専門学校等	2	7	5	14
進学合計	11	17	5	33
県内就職	13	3	9	25
県外就職	5	3	0	8
就職合計	18	6	9	33
その他	1	0	0	1
合 計	30	23	14	67

進学は、南九州大学 2 名、東海大学 1 名、酪農学園大学 1 名、志學館大学 1 名、県立農業大学校 13 名、鹿児島女子短期大学等でした。就職は鹿児島共同食品、高梨乳業(株)等、県内外の企業に内定しました。

### 営農の門出を 励ます会

一月二十八日(木) 農業関係への進学・就職を決定した三年生二十一名を対象に、「営農の門出を励ます会」が開催されました。

当日は、いちき串木野市長 日置市副市長他、農業関係行政機関、日置地区農業青年クラブより来賓が出席されました。

農業経営科 神之田功也君

櫻井竜太郎君

生物工学科 荻原 丞君

長野寛樹君

以上四名が代表として抱負を発表し、来賓の方々からの言葉や、一・二年生からの励ましの拍手をもらい、気持ちを新たにしていきました。



### 二年生の視察研修

二月九日(火)、進路選択や専門教科の参考となるように、各学科・選択コースに分かれて、県内の学校や企業を訪問しました。



食肉加工場にて (生物工学科)

普段の授業では見ることでできない現場の様子を直接見学できて、充実した研修の機会になりました。



かつお節工場にて (生活科)

### 社会人を前に

卒業を前に三年生を対象とした外部講師による講習会が開かれました。

二月八日(月)は、全国銀行協会の講師により、「社会に出て気をつけたいお金のこと」が実施され、社会生活を送る上で必要な、金融に関する基本的な知識を身につけることができました。

三年生にとって、自分自身を振り返り、社会人になるための心構えを持つ良い機会になったと思います。

二月十五日(月)は、「労働関係法令の基礎知識」が開かれました。就職・進学を前にして、労働者としての権利や義務、働いていく上で困ったときには、どうしたら良いのか等について、伊集院公共職業安定所の方に詳しく教えていただきました。



講話に聞き入る 3 年生  
〔労働関係法令の基礎知識〕

### 職員コラム

#### GをCに変える

「チェンジをチャンスに変えることが大事なこと。たった一文字を変えるだけですよ。」という話がありました。

ChangeとChance、確かにGをCに変えるだけで機会が訪れることになりません。自分が変わると機会が訪れること。GをCに変えることを意識すれば、大切な機会は訪れるということなんです。人を変えることは難しいですが、自分を変えることは自分の意思でできることです。

また、野村克也さんは有名な次の言葉を引用してくれました。「心が変われば態度が変わる、態度が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば、運命が変わる、運命が変われば人生が変わる」というヒンズー教の教えとして紹介しています。前後をつなぎ合わせると、「心が変わると人生が変わる」となります。心があり方を変えると、人生が変わってしまうのです。

「心が変わる」という気が付きが習慣となり、それを毎日続けることで無意識へと発展します。無意識の行動はそれまでなかった機会を与えてくれます。機会を得るということは、その立場にならなければ得られないものを得られる機会を持つこととなります。それまで立つことのできなかった場所に立てる機会を招いてくれるのです。

たった一度きりの高校時代、何か夢中になってほしいと思います。そして、それをこの市来農芸高校では是非見つけてほしいと思います。

ChangeのGをCへ変えようとする。変化は機会につながります。

生物工学科

有菌 直樹

### 農芸市場

3月 農産物販売のお知らせ  
予定日 8, 15, 22日(火曜日)  
販売時間 14:00~

販売予定品目

野菜	〈なし〉
卵	L 220円 2L 230円
加工品	黒豚味噌 250円
	ちりめん味噌 250円
鉢花	サイネリア 200円